



## 年頭のご挨拶

～地域中核病院への取り組み～

医療法人社団 坂梨会 阿蘇温泉病院  
理事長 坂梨 寿恵夫

新年あけましておめでとうございます。今年も皆様方におかれまして、よりよき年でございますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年は政権交代が話題となつた年でございましたが、本年は私が開業以来考えて参りました構想を一歩ずつ実現していく年にしたいと考えております。

阿蘇温泉病院は、昭和49年、前身の坂梨医院開業当初より急性期の脳血管障害患者の治療、及びこれに起因する運動機能障害患者に対する回復期のリハビリテーションへの取り組み、また急性心筋梗塞を始めとした心疾患についても救急患者をお受け入れし、入院治療や高機能病院への搬送、また必要によりドクターカーの出動要請を行い、地域の救急医療機関としての機能を果たして参りました。平成18年の救急の日には、こうした地域救急医療体制の確立への貢献が評価され、厚生労働大臣表彰を受けるに至りました。また昨年秋には、神経内科医を迎えて、t-P.A治療体制（※文末に注）の整備など脳卒中センター病院としての機能の充実を図っていく予定です。

それに加え、阿蘇地域において脳血管障害の次に多い急性心筋梗塞等の心臓疾患への対応については、大学に応援を依頼し、循環器科専門医師による心臓カテーテル治療体制の整備を計画しております。

産婦人科については、当院がすでに阿蘇地域の中核病院として機能しているところですが、さらに担当医師の招聘と高度医療機器・設備の整備により、脳卒中・心筋梗塞への対応を始めとした救急急性期対応の機能を充実させ、地域の方々に安全で安心してかかっていただける地域中核病院となるよう、微力ではございますが、尽力して参る所存でございます。

今年も皆様方の倍旧のお力添え、ご支援のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。



**発行**  
**企画広報課**  
**坂梨会**

## ご挨拶

介護老人保健施設「愛・ライフ内牧」  
このみ こうき  
施設長 許斐 康熙

昨年の7月半ば、教養部時代の旧友が突然わが家にやって来て「今から阿蘇に行くぞ」と云います。半ば拉致状態でこの内牧に連れて来られ、理事長にお会いして愛・ライフに来ることになりました。

私は腰を痛めて飯塚の総合せき損センターに2年ほど入院し、4回の手術を受けてやっと杖について歩けるようになったところでした。お医者さんはとうの昔に廃業していましたし無事務まるかなといささかの不安もありました。ところが、杖を片手に回診する姿を見て、入所者の人達は同僚が来たとでも思ってくれたのか快く受け入れてくれているようです。

私は気分転換とりハビリを兼ねて朝夕近くを散策しています。日本の原風景を残す阿蘇谷は戦後数年を過ごした郷里の田舎を想い出させ、黒川沿いの「黄泉がえりロード」を辿りながら癒されています。

また10月末、私は後期高齢者となりました。とうとう後期高齢者かと憮然としていたところ入所の方が私の手相を見て「先生は90才まで生きます」と云ってくれました。あとで看護師に「あの人頭大丈夫かい」とそつと尋ねてみたら、「下半身不随で入所しておられるので大丈夫です。よくあたるのでみんな見て貰っていますよ。」とのことでした。私の母も若い頃、易者に「貴女は92才まで生きます」と云われ頑なにこれを信じ、93才まで達者でいたのでこのご託宣を信ずることにしました。

その夜お風呂に行こうと部屋を出て詰め所の前まで来たら、看護師や介護師、それに入所者の皆さんがあつあつと集まって来て整列し「秋の夕日に」を斎唱、「先生お誕生日おめでとうございます」ときました。これにはさすがにグッとなりました。折りしも辺りは紅葉の始まりでした。プレゼントはのど飴1個でしたが「後期高齢者でもいいか、暫くはここでやってみるか」という気分になつたものです。

明けましておめでとうございます。皆さんどうぞよろしく。

(※注)

血栓溶解剤による超急性期脳梗塞症に対する治療法で、発症後3時間以内にt-P.A治療を行った場合、3ヶ月経過後ほとんどマヒ等の後遺症が残ること無く社会復帰できた割合は37%、社会復帰の割合は処置しない場合より5割高かったという治験結果が報告されています。

### 産婦人科

### 外来専用エレベーター 完成

工事のためご迷惑をお掛けしていた産婦人科外来専用エレベーターが12月末に完成しました。

1階から産婦人科外来前へ直接上がる事ができますのでぜひご利用ください。



<運営時間>  
月～金 8～18時  
土曜日 8～14時

阿蘇温泉病院 第1駐車場内



# 耳鼻咽喉科（安井医師） 診療再開のお知らせ

9月よりご迷惑をお掛けしておりました耳鼻咽喉科が診療再開となりました。担当は安井俊道先生です。下記の日程は予定です。

日 程	時 間
1月23日(土)	8 : 3 0
3月20日(土)	5
3月27日(土)	16 : 0 0

明けましておめでとうございま  
す。本年が皆様にとつて幸多き  
一年でありますよう、心よりお  
祈りいたします。私たちも様々  
な情報の提供や読みやすい紙面  
づくりを目標に努力いたします  
ので何卒よろしくお願ひ致しま  
す。

# ご挨拶

社会法人社団 蘇峯会  
ケアハウス「茶寿苑」  
施設長 坂梨 ゆかり

あけましておめでとうございます。

昨年は政権交代の大きな変動がございました。しかし、その大きなうねりは皆様には実感として肌に感じられないのではないかでしょうか。テレビに映る国の補助金仕分けの様子も方向性が決まっている事柄をさも議論して決めたかのような、マニフェストという錦の御旗を立て、官僚は悪、明治維新の徳川幕府的古い体質は全て悪のようなショーに見えてしました。優秀な官僚を使ってこそ仕組みは上手く動いていくと思うのですが。

振り返って茶寿苑を見てみると、年々入居者の高齢化が進み、又施設も老朽化してきています。このような時期にこそ、職員と入居されている方々とのチームワークが必要で手を取り合い助け合って、ルールを守り、環境改善を図っていきたいと思っております。

また、病気になって医者にかかるのではなく、日々の健康管理に注意し予防すること、これが大事だと思います。栄養士も皆様の個人個人の情報を基に、健康管理に留意したおいしくいただける食事を日々考え提供しています。介護事務職員も皆様のお手伝いをして、すばらしい茶寿苑ライフを楽しんでいただけるよう考え方行動しています。それに加え、グループの温泉病院のスタッフも入居者の皆様の健康管理や医療に尽力されています。もちろん常々入居者の方が安心して受診できるようお願いしますと申し入れもしておりますし、病院側も皆様に安心して診療を受けていただけるよう、医師の充実とスタッフのレベルアップを図り、よりよき医療と環境を目指し頑張っていらっしゃいます。医療施設が隣接にあることはこの茶寿苑のよいところであり、今後もグループ全体で皆様のケアをして参ります。

このような施設で暮らすことができて幸せ・・・  
そんな実感がもてる1年を目指し皆様とご一緒に  
つくっていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



# 健康教室 で体いきいき♪

平成20年12月8日に狩尾公民館にて、地域の方約30名にご参加いただき健康教室を行ないました。今回は「脳卒中を防ぐ生活習慣」と題して神経内科の松本哲夫先生がお話をし、その後リハビリのスタッフ2名が「健康体操」を行いました。

松本先生は講演で脳卒中・脳梗塞・くも膜下出血の違い、救急時の対応の仕方、そして予防についてお話をされました。万が一、周りの方が脳卒中などになってしまった場合に救急隊が到着するまでに行うこと、搬送される場合にどのような情報が必要になるかなどいざという時に非常に役立つものでした。

リハビリスタッフによる「健康体操」では阿蘇でつくられた「やまびこ体操」を行いました。首から脚まで伸ばしたり動かしたり、皆さんとても積極的に体操をされていました。

今回の健康教室を通して、地域の皆様の今後の健康増進に少しでもお役に立てればと思います。今後もこういった取り組みを続けていきますので、ご希望の地区や団体がございましたらいつでも下記までご連絡ください。お待ちしております。

(小児科などもお受けしています。)



企画広報課 健康教室の  
ご依頼・お問合せ < 電話 0967-32-0881(代) 担当: 上野